区政と議会のホンネを報告！
せたがや 1+2/52
http://www.t3.rim.or.jp/~110ban/
せたがや政策会議
区議会議員 おおば正明
第41号　2008年10月
〒157-0063　粕谷3-15-3（TEL&FAX　3307-1179）↑52は議員定数、1は私、+2は会派メンバー。

PART2
世田谷行革110番

許せん 民営化を阻むもの

これでは民営化はまかせられない？

10月決算議会中に発覚

●保育所の民営化が進む中での“事件”発覚である。しかも保育士の名前を旧姓で使い分けるなど外部からわからない悪質な手口である●決算議会では他会派も大きく取り上げた●担当部署はこれまで保育園の質の確保に取り組んでいただけに残念。

不況で民営化圧力は強まる

●保育園に限らず今後、公的部門の民営化は避けられない。世界同時金融パニックは大不況に突入されるといわれている。教科書で習ったとおり、公の仕事を民間に開放しなければ不況脱出にはつながらない●一方税収は激減し公務員を今の定数で維持することは難しくなる●結果、否応なく民営化圧力は強まる。そこで問題となるのが「質の確保」である。

品質管理は絶対条件だ

●これまでの甘いチェックではなく、それこそ生き馬の目を抜くような民間の不正は絶対に許さない体制を作らなければならない●この問題では、区の管理体制がまだ整っていないことを理由に平成19年度決算に『せたがや政策会議』が反対することにつながった。（10月17日本会議にて決算に反対した）

第5458号

東京都と世田谷区 立入調査で不正見抜けず

手分けして書類をねつ造

認証保育所で虚偽申請

事件を報じる「都政新報」10月3日号

保育所が保育士数水増し

小田急電鉄系 補助金2300万円不正受給

2008年9月30日 読売新聞

【解説】●「東京で一番子育てしやすいまち世田谷」が熊本区政の柱でありその具体策の一つが保育園の定員増だ●3年で1140人超のハイペース（現在の定員数9090人）●それでも待機児童数はいつもワーストに数えられる（数ベースでは人口が最大なので仕方がないのだが、率ではそんなに悪くはないはず）●とにかく増やせ増やせである●今回事件となったのは東京都が独自基準で設けている“認証保育園”。区が直接タッチしているわけではない。区が直接タッチしているのは国の基準で設けられる「認可保育園」で世田谷区は民営化に際しては株式会社等の営利法人は認めないなど全国的に厳しいガイドラインを設けている●そもそも“認証保育園”とは東京都が都市部の事情を考慮して国の「認可保育園」より基準を緩めた駅前保育中心の保育園である●そこには株式会社の経営も含まれる●だからと言って区は関係ないとはいえない。実は世田谷区としても定員増を図るために、この東京都の“認証保育園”を計画数の中に入れている。それどころか定員増の“最大戦力”として期待している（約4割、450人分を認証保育園で補う計画）●にも関わらず、“認証保育園”のチェックは都との関係から中途半端な状態に置かれている。「認可保育園」ほど厳しいチェックがしづらい面もあった●今回の事件は「定員増圧力」と「複雑なチェック関係」のまさにその間につけ込まれたと言って良い●しかも定数増とチェック（質の維持）という相反する仕事を同じ課で行っていることが問題である。定数増を優先するなら多少チェックを甘くするような雰囲気がなかったろうか●区では、想定していない株式会社運営の“認証保育園”が東京都によって区内で開園することに“鈍感”だったと言える。今までと勝手が違う、だけでは済まされない●組織体制を見直し、株式会社の考え方や行動形態に対応したチェック手法を採り入れなければならない●このことは保育園に限らず今後の民営化において区が避けられない部分であり、区役所の行革がうまくいくかの分かれ目となる。

世田谷区のオウム問題に関する意見書

――― 地元では賛成、議会では反対？？？

●10月17日の本会議で「オウム真理教に対する公安調査庁による観察処分の期間更新及び無差別大量殺人行為を行った団体規制に関する法律の存続・強化を求める意見書」の賛否が分かれた●賛成＝自・公・民及び政策、反対＝共・ネット・社民である（一人会派は割愛ゴメン）●烏山に教団が移転してきたのが平成12年のことである。以来烏山地域にとっては宿痾のような存在でありホンネとしては一刻も早い“解体”を願っている●かつては不法とは承知で転入拒否の区の姿勢を支持したり（最後は和解となったが）デモにも加わったりして地元住民を応援してきた●あれから8年、区議会として正式にできることは国に対する意見書である●反対する議員はどうも団体規制の強化が引っ掛かるらしい。壇上での反対意見を聞く限りでは自分たち（共・ネット・社民）に拡大解釈されることを心配しているように聞こえた●さらに驚いたことに、地元では団体規制の強化の署名に平気で名を連ねていたことが判明した●とんだ二枚舌議員もいたもんだと思った。

辞職勧告決議を無視、最悪の議員特権

●10月1日の本会議で「あべ力也議員に対する議員辞職勧告決議」を全員一致で可決した。●しかし本人はこれを完全無視した上で決算委員会にも出席させろと主張●決算委員会でも毎回持ち時間の範囲で自分の主張を繰り広げていた●1年前まで議員特権を批判していた本人が、今度は恥知らずの議員特権で議会に居座っている●こういうのは何とかならないのだろうか●そんなことを言うとオウム同様、擁護する議員が出てくる？

阿部・世田谷区議への運動員訴訟

わいせつ行為認定

東京地裁

9月27日付朝日新聞および3月17日のテレビ報道より